

一般助成 子どもの健やかな成長を願う事業(つながり・かかわり)

「造形活動を通じた障害児と健常児の 交流活動促進・心の架け橋」事業

見るものの魂を揺さぶる表現力を持った障がい児と 健常者が造形活動を通じて交流することで開く共生社会

小学校専科教師として児童の造形教育に携わってきた教師が中心となって結成された教育研究団体が、退職後も社会教育現場で障がい者教育に取り組んでいる。国が進める障がい児(者)と健常者の統合教育が未だ十分な実践と成果が得られない状況を変えるため、ソーシャル・インクルージョンの推進にチャレンジしている。



障がい児と健常児が造形活動で交流するワークショップを実施



障がい者を対象とした造形活動を通じ 芸術や表現が持つ力やエネルギーを実感

児童の造形教育に携わってきた元教師や障がい者教育施設関係者、介護士、映像関係者などで構成された「障害児と健常児の交流活動事業実行委員会」では、障がい者を対象とした造形活動を「横浜市リハビリテーション事業団 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール」から委託され、毎月1回活動をしている。この活動は既に10年余となっているが、参加者は重度の脳性麻痺の方から半身不随の方、ダウン症の方など、児童から壮年まで様々である。また、社会福祉法人「東京ムツミ会ファロ」の委託を受けて、四谷ひろばで月2回造形活動を展開している。参加者は青年から壮年までの男女で、統合失調症を患って

いる方々である。

文部科学省が障がい児の自立と共生を重視する統合教育を掲げてから久しくなるが、その実践と成果は必ずしも満足できるものとは言えない。そのような状況のなかで、同委員会は造形活動を通じて障がい児と健常児がともに学ぶバリアフリーな社会を目指す活動を支援してきた。本来、人間の感動やエネルギーの表現であるべき芸術だが、様々な知識や思想によって内容が高度化された反面、歴史、技術や技法などにとらわれ、ものづくりの感動が空疎なものになってしまった面がある。

しかし、そのような枠組みにとらわれない障がいをもった人たちの造形活動は、表現にとって本当に大切なもの、基本的なものを私たちに示してくれる。障がいをもった子ども

たちの造形表現活動において、そのことは一層はっきりと現れる。それは人間の最も根源的な欲求や衝動から生み出されているからであり、それが表面的なうまさや技術を求めることに陥りがちな健常児や一般的な大人の造形活動に反省を促すものとなるように思われる。

障がい児と健常児が造形活動で交流する ワークショップを4カ所で実施する

そこで同委員会では、AJOSCの助成を活用し、ノンバーバル(非言語)な内容を多く含む造形活動を通じ、極力言葉を介することなく、障がい児と健常児が交流し、表現された図像を互いに鑑賞することにより、一人ひとりのよさを確認し、創造力を育成することを目的に、「放課後等デイサービス 障害福祉支援 熱海ひかり」(熱海市)、認定NPO法人「湯河原町地域作業所 放課後等デイサービス たんぽぽ」(湯河原町)、「放課後等デイサービス 笑っこ」(湯河原町)、「横浜ラポール」(横浜市)の4団体の

協力を得て、ワークショップを実施した。

ワークショップの内容としては、ロール状のポリプロピレンシート(10m)にそれぞれ思いついた内容の絵をクレヨンで描くというもので、制作後に光の透過する窓に展示して全員で鑑賞した。さらに表現活動の継続を希望する事業所では、不織布(タイベック)に被覆性の強いクレヨンで思い切り描くという制作活動を行った。また、障がいのある子どもにとって最も切実な感覚である触覚を刺激するために、粘土と木材を素材にした立体表現のワークショップを行った。

「ワークショップの会場をご提供いただいた4団体からは、いずれも来年度以降の活動継続のご要望をいただいています。今日、障がい児教育は過去に考えられていたような特殊教育では全くなく、共生社会を実現するための教育として再認識されなければなりません。そのためには私どもの活動をシステム化し、社会一般に拡大していく必要を感じています」と、同委員会では今後の抱負を話してくれた。



障がい児と健常児が表現された図像を互いに鑑賞するなど交流を図った



助成団体:障害児と健常児の交流活動事業実行委員会

<https://www.shogai-kenjo-koryu.com>



AJOSCの助成事業という信頼性で企画から順調に進行

「職人には学問はいらない」という台詞があります。これは手を使ってモノをつくる人がその技術に伴う高潔で不羈な人格や品性や教養をあらかじめ具えていることを指摘した警句であると思います。造形美術の教育にもこのような深い精神性があります。今回、AJOSCの助成事業に認定賜りましたことに感謝申し上げます。

障害児と健常児の交流活動事業実行委員会
実行委員長 穴澤 秀隆さん